

平成 30 年度八戸市復興計画推進市民委員会意見への対応状況 (平成 31 年 4 月末現在)

3. 都市基盤の再建

市では平成 30 年度に八戸市復興計画推進市民委員会を 4 回開催し、委員の皆様から御意見をいただきました。

本資料は、「3. 都市基盤の再建」等への御意見に対する平成 31 年 4 月末現在の市の対応状況についてとりまとめたものです。

なお、対応状況は、下記区分のとおりです。

【対応状況の区分】

- ＝意見を踏まえ対応に努めている、対応を予定している
- △＝意見を参考に検討段階
- ×＝意見への対応が難しい

復興計画全体に関する総括意見

No.	意見の内容		【担当課】
	対応状況	対応内容	
1	各対応状況 のとおり	<p>「都市基盤の再建」については、八戸港港湾計画改訂の働き掛けや新大橋整備事業の工期短縮に努めるとともに、公共交通利用への自発的転換を促す取組を推進すること。</p> <p>◎八戸港港湾計画改訂の働き掛けについて 【港湾河川課】 意見No.5 で回答</p> <p>◎新大橋整備事業の工期短縮について 【道路建設課】 意見No.6 で回答</p> <p>◎公共交通利用への自発的転換を促す取組の推進について 【都市政策課】 意見No.7 で回答</p>	<p>【港湾河川課】</p> <p>【道路建設課】</p> <p>【都市政策課】</p>

復興計画に掲げた4つの基本方向ごとの意見

3 「都市基盤の再建」に関する意見

No.	意見の内容		【担当課】
	対応状況	対応内容	
2		港湾の整備については、近年の八戸港を取り巻く諸情勢の変化や新たなニーズに的確に対応するため、八戸港港湾計画の改訂を県へ働き掛ける必要がある。	【港湾河川課】
	○	意見No.5で回答	
3		道路・公園・下水道等の整備については、新大橋整備事業における長期通行止めによる各方面への影響を最小限に抑えるため、更なる工期短縮に努める必要がある。	【道路建設課】
	△	意見No.6で回答	
4		公共交通の維持・確保については、過度に自家用車に頼る状況から、公共交通機関を上手に利用する方向へ市民の自発的な転換を促す取組を推進する必要がある。	【都市政策課】
	○	意見No.7で回答	

個別の施策・事業に対する意見

3 「都市基盤の再建」

(2) 港湾の整備

No.	意見の内容		【担当課】
	対応状況	対応内容	
5		直近の改訂から相当年数が経過している現在の八戸港港湾計画について、八戸港を取り巻く諸情勢の変化や新たなニーズに対応するため、同計画の改訂を県(港湾管理者)へ働き掛ける必要がある。	【港湾河川課】
	○	平成21年の港湾計画改訂以降においても、八戸港を取り巻く社会情勢や港湾利用のニーズを踏まえ、平成23年に港湾計画の一部変更、平成24年と25年に軽易な変更、平成27年に一部変更が行われており、現在、この港湾計画に基づき施設整備が進められているところです。今後も、八戸港を取り巻く諸情勢や、新たなニーズについて、戦略的に港湾計画に反映していくことは、大変重要であると認識しており、次期港湾計画の改訂に向けて、港湾管理者である青森県に対して、様々な機会を通じて働きかけてまいります。	

(4) 道路・公園・下水道等の整備

No.	意見の内容		【担当課】
	対応状況	対応内容	
6		新大橋整備事業について、通行止めによる各方面への影響を考慮し、更なる工期短縮に努める必要がある。	【道路建設課】
	△	更なる工期短縮に向け、引き続き国及び関係機関と協議を進めてまいります。	

(5) 公共交通の維持・確保

No.	意見の内容		【担当課】
	対応状況	対応内容	
7		渋滞や環境等に配慮し、過度に自家用車に頼る状況から、公共交通機関を上手に利用する方向へ市民の自発的な転換を促す取組を推進する必要がある。	【都市政策課】
	○	行政、交通事業者、市民等で組織する「八戸市地域公共交通会議」が主体となり、MM事業(公共交通機関を上手に利用する方向へ自発的な転換を促す取組)を実施しており、引き続き実施してまいります。	
8		はっち・マチニワ間を往来する歩行者の道路横断の実態を踏まえ、関係機関と協議の上、適切な安全対策を講じる必要がある。	【まちづくり文化推進室】
	△	<p>市ではマチニワオープン前後において、はっちとマチニワ間の国道 340 号の歩行者数及び横断状況の調査を実施しました。(平成 30 年 7 月～8 月で計 6 回実施)</p> <p>調査では、マチニワオープン前後で国道 340 号の往来が約 1.3 倍、一日平均約 2,200 人増加し、9,309 人となり、そのうち、13.6%の 1,272 人がはっちとマチニワの正面付近の往来である結果となりました。</p> <p>調査結果を踏まえ、特に、はっちやマチニワでのイベント開催が多い休日においては、両施設間の往来が増加する傾向にあることから、イベント主催者や来場者に対し、横断歩道の利用を促していくほか、引き続き、八戸警察署及び地元商店街等関係者と連携し、同地点の状況把握に努め、その対応策について、警察署等に働きかけてまいります。</p>	